

【立科町】校務DX計画

2025年3月

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	0%	0%	50%	80%	100%
	不合理な手入力作業の一掃に取り組んだ学校の割合	0%	50%	100%	100%	100%
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	0%	0%	50%	80%	100%
選択項目	3.学校から保護者へ発信するお便り・配布物等をクラウドサービスを用いて一斉配信している学校の割合	20%	50%	100%	100%	100%
	9.1人1台端末を児童生徒に持ち帰らせ、家庭で利用できるようにしている学校の割合	100%	100%	100%	100%	100%
	16.職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化している学校の割合	100%	100%	100%	100%	100%
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	・教職員間にICTスキルの差があり、ICTに対して苦手意識のある教員がいる。 ・立科町教育情報セキュリティポリシー未策定。 ・FAXや押印などの慣例となっている業務が一部に存在する。 ・教育委員会としてクラウドサービスに関する調査や研究が必要である。 ・各市町村でシステム環境が違うため、教員の負担増となっている。				
	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	・教職員向けの研修会を開催し、ICT活用スキルの向上を目指す。 ・立科町教育情報セキュリティポリシーの策定。 ・FAX・押印の見直し。 ・クラウドのサービスに関する調査や研究。 ・各市町村間のシステム環境の情報共有。				
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	・立科町教育情報セキュリティポリシーを策定し、ルール・規則を明確にする。 ・職員研修等を実施し、校務DXの取組みを進める。				